

神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO.19-3】2019年8月2日発行

横浜市中区桜木町3-9平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5654

後期高齢者医療制度「怒り」の行動へ！！

8月1日に開催した「後期高齢者医療制度“怒り”の行動」スタート

集会は、灼熱の中、県内各地から12団体・個人93人が参加して開催しました。主催は、年金者組合と高齢期運動連絡会、県社保協の三者でつくる「怒りの行動実行委員会」。このスタート集会は、後期高齢者医療制度の問題点と改善方向を探り、この秋に取り組む、「怒り」の行動を提起し、意思統一することを目的としました。

集会では、「後期高齢者医療制度—その問題点と改善方向」と題して、寺尾正之さん（日本医療総合研究所研究研修委員）から講演。「神奈川県後期高齢者医療広域連合議会の現状と問題点」について、白井正子さん（日本共産党横浜市議・広域連合議会前議員）から講演いただきました。どちらの講演も非常に好評で、「後期高齢者医療制度の成り立ちと問題点がよくわかった。ひどい制度の改善が必要だ」、「広域連合議会について初めて知った。どう改善していくかの取り組みが大事」という感想が寄せられています。

その後、「怒り」の行動として、この間、「75歳の医療費窓口負担2倍化反対運動」と「保険利用に対する不服審査請求運動」をすすめてきましたが、後期高齢者医療制度の問題に突き進む運動として「怒り」のひとことカード運動を新たに提起しました。参加者から活発な論議が交わされ、以下の行動を確認しました。

8.1 スタート集会に93人参加



“怒り”を“希望”に“行動”に

8月1日（木）13：30～17：00

後期高齢者医療制度”怒り”の行動「スタート集会」

8月下旬から9月中旬

<後期高齢者医療制度”怒り”の行動「〇〇地域のつどい」開催>

- 「後期高齢者医療制度とは」「不服審査請求とは」の学習
- 「不服審査請求書」の作成・・・「保険料決定通知書（コピー）」と印鑑を持参
- 後期高齢者医療制度の「怒り」のひとことカードの作成

署名運動、議会への陳情・請願

- 75歳以上の医療費窓口負担2倍化反対の署名を10万筆集める。
- 秋の国会、県議会、市町村議会、広域連合議会への請願・陳情運動に取り組む。
- 議会への請願・陳情での会派要請のときに「怒り」のひとことカードを提出する。

不服「審査請求書」の集団提出
9月19日（木）13：30～
日本大通7ビル 801会議室

- 各地域の代表による提出
・・・県健康保険局・保険医療部

「70歳まで働け、病気になるな、要介護になるな、お上に頼るな」

2008年に制度ができたときに、他の医療保険制度と根本的に異なる「個人単位制」が持ち込まれたことで新たな保険料負担が発生した。国民的な運動で特例軽減措置制度がつけられた。しかし、安倍政権は、2017年から特例軽減措置を廃止し、低所得者にとって極めて厳しい制度になっている。公費の財政負担割合が50%から47%まで下落する一方で、保険料は10%から11%に、各健康保険からの支援金が40%から42%に上昇している。75歳以上の人口が増え医療給付費が増えれば自動的に保険料は上がるしくみになっている。

安倍政権のもとで、高齢者に際限ない保険料値上げを押しつけ、「負担増を我慢するか、医療を受けるのを制限するか」をせまるという制度の害悪が本格化しようとしている。安倍内閣が推し進める「全世代型社会保障への改革」とは、「70歳まで働け、病気になるな、要介護になるな、お上に頼るな」といことだとねらいの本質だ。

改善方向として、①制度の公費負担の割合を現在の47%から引き上げる。②「基金」を活用した保険料引き下げの要求は引き続き重要な課題。③差別と負担増の制度を廃止し、元の老人保健制度に戻す。④老人福祉法の目的・基本的理念を活かす高齢者医療制度への4点を指摘し、私たちの運動への激励をしていただきました。

「後期高齢者医療広域連合議会」を変えていく運動が大事」

神奈川県は33自治体があるにもかかわらず、広域連合議会の議員定数は、わずか20人で、日本共産党の議員は横浜市から1人だけ。全自治体から選べるようにすべきと訴えてきた。3月と8月に議会が開催されるが、議会で発言するのは、日本共産党の私だけ。議員の多くが制度のことに関心がなく、淡々と議事の進行に協力している。みなさんからの陳情も、賛成発言は私だけで他の議員からの発言もなく不採択とされている。制度が異常というだけでなく、その議会の運営も異常だというのが実態だ。

昨年、保険料が1人平均で年額2,590円引き下げられた。剰余金が140億円でたということで保険料の減額に活用されたということだが、みなさんのこの間の運動が大きな影響を与えている。みなさんの運動が広域連合と議会・議員を動かしているということに確信をもって、運動を前進させて欲しいと訴えました。



社保協運動前進への新たな決意を固める

川崎市社保協総会

川崎市社保協の第26回定期総会は、6月29日に中原民商会議室で、14団体43名の参加で開催しました。総会では12人から発言があり、豊かに語られ、参加者から「久しぶりに参加したが沢山の方々が参加していて勇気もらった」「みんなの発言がこれからの運動の励みになり参考にしていきたい」などの感想が語られました。とくに各区の社保協の運動では、「対区の懇談会」や他団体への働き方の経験が語られ、今後の全体の取り組みを考えていくうえで大きく参考になるものでした。新しい体制で、憲法25条を守り生かしていく活動をすすめて、社会保障充実のたたかひをしていきたいという新たな決意がわいてくるような総会になりました。

定期総会の記念講演は「社会保障をめぐる情勢と地域社会保障運動に望むもの」と題して中央社保協事務局次長の是枝一成さんが行いました。是枝さんは、安倍政権がもくろむ2040年度を展望した社会保障・働き方改革として70歳まで年金はもらわず、低賃金で働き、健康寿命を75歳まで引き上げ、介護保険を使わないという理想を掲げ、日本経済の成長戦略としているところに大きなひずみが生じていることを強調し、安倍内閣が、社会保障を働き方改革と合わせて考えているところに大きな問題があるということを指摘していました。

是枝さんは、私たちのたたかひの視点として①憲法25条をしっかりと理解し、権利としての社会保障に確信持って運動を進めよう。②日常の医療・介護・福祉活動等での具体的事例を共有し問題点を可視化、一つ一つ解決していく運動を積み重ねていこう。③地域・知町村・都府県レベルで具体的政策づくり（野党共闘などに反映）、国の政策の転換へということを強調しました。



＜川崎市社保協ニュースより転載＞

地域に存在感ある社保協活動を推進する

相模原市社保協総会

6月30日、相模原市社会保障推進協議会の第20回総会が総合学習センターで開催され、30人が参加しました。総会で、決算予算案、活動方針が採択され、会場からは地域で起きている問題などが出され、地域に存在感ある社保協運動をすすめることを確認しました。総会では、社会保険労務士の夏野弘司さん、ケアマネジャーの斎藤理恵さんを講師に「年金と介護...いまとこれから」というテーマで学習をしました。

自己責任をすすめる政府…政府が進めようとしている年金制度に関する今後の検討課題として、支給開始年齢の更なる引き上げや遺族年金の有期化などが挙げられているようです。また、これまでは個人年金が議題にあがることが無かったそうですが、今は公的年金制度とあわせて個人年金についても議論がされるようになってきました。「老後2000万」の報告のようにもはや社会保障では無く、自助努力・自己責任の年金制度になってしまっています。年金者組合は最低保障年金制度の創設を提案し、運動をすすめています。

超高齢社会…相模原市…相模原市の高齢化率（65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合）は25.8%。市民72万人の内、約18万5千人が65歳以上です。市内の要介護・要支援認定者は3万を超えます。2000年4月に始まった介護保険制度。制度が分かりにくく複雑ですが、これまで何度も制度が変えられより分かりにくくなっています。2018年には自己負担3割が導入されてしまい、所得によって1、2、3割の3段階の負担割合になります。また、介護度により訪問介護生活援助の回数制限も設けられました。基準回数を超える場合はケアマネジャーが自治体に直接出向いて届け出をしなければならず、それが負担で利用が抑制されてしまう。介護人材の養成の状況では、介護福祉系専門学校・大学の入学者が大幅に減少していることや、介護福祉学科閉鎖が相次いでいる実態が出され、2025年には介護人材が33万7千人不足する試算も出されています。

＜相模原市社保協ニュースより転載＞



TOPICS

- ◆7月11日 神奈川県消費者団体連絡会で、消費税ネット呼びかけ人で税理士の益子さんによる消費税学習会を開催。
- ◆7月15日 最賃を1500円に！希望のダンプカーデモで行われ、約100人参加。みなとみらい地区をパレードし、多くの若者から共感が寄せられた。
- ◆7月18日 7団体20人参加で、消費税10%ストップ！ネットワークかながわの伊勢佐木町モールでの宣伝・署名行動を行った。署名58筆を集約。
- ◆7月19日（金）神奈川県協連で、消費税ネット呼びかけ人で主婦連合会会長の有田さんによる消費税学習会を開催。
- ◆7月27日 神奈川公会堂で神奈川民医連ピースフェスティバルが開催され、約420人参加。

＜8月の主な行動・会議日程＞

- 3日（土）中央社保協総会 10:30 建設プラザ東京会議室
- 5日（月）県社保協医療保険改善委員会 14:00 神商連会議室
消費税10%ストップ！ネットワークかながわ呼びかけ人会議 19:30 保険医協会
- 6日（火）大運動実行委員会世話人団体会議 9:00 平労会館 7F
- 7日（水）高齢期要求に関する学習会・厚生労働省交渉 10:30 参議院議員会館講堂
全労連ヘルパーネット厚生労働省交渉・世話人会 13:00 厚生省ロビー集合
- 8日（木）新婦人中原支部社会保障学習会 13:30 中原市民館3・4 会議室
- 9日（金）県社保協第3回幹事会 14:00 保険医協会会議室
- 10日（土）県民連夏季討論集会 10:00 神商連 4F ホール
- 18日（日）いらない！原子力空母2019 夏パレード 16:00 横須賀ヴェルニー公園
- 20日（火）相模原・後期高齢者医療怒りのつどい 13:00 相模原市民会館講習室
- 22日（木）県民連絡会・神奈川県への要求提出 10:00 県庁本庁舎 3F 大会議場
- 23日（金）高齢期運動連絡会幹事会 14:00 年金者組合会議室
- 26日（月）子ども医療費助成の拡充を求める連絡会 10:30 保険医協会会議室
県社保協介護保険改善委員会 16:00 神奈川民医連会議室
介護のつどい実行委員会 18:00 神奈川民連会議室
- 27日（火）川崎南部・後期高齢者医療怒りのつどい 10:00 教育文化会館第4 会議室
川崎北部・後期高齢者医療怒りのつどい 14:00 テクノかわさき第1・2 研修室
JAL 解雇争議支援神奈川県連絡会結成総会 18:30 港湾労働会館
- 28日（水）県後期高齢者医療広域連合議会 14:30 川崎市コンベンションホール
- 29日（木）中央社保学校 in 金沢 13:30 石川県教育会館 3F ホール（30日 16:30 まで）
情勢学習会（中野晃一氏講演） 18:30 建設プラザ 2F ホール
- 31日（土）肢障協全国交流集会 2019 in 神奈川実行委員会 10:30 反町地域ケアプラザ
肢障協全国交流集会 2019 in 神奈川ボランティア説明会 13:30 反町地域ケアプラザ

改憲勢力が3分の2を割る！！

7月4日告示、7月21日投票で参議院選挙がたたかわれました。県社保協は、市民と野党の共闘を前進させ、一刻も早く安倍政権を退陣に追い込むチャンス！「憲法9条と憲法25条を守れ」を高くかかげ、①安倍政権の改憲発議を許さない、②10月消費税10%増税ストップ、③社会保障制度の連続的な改悪をやめさせる声をおおきく広げようと呼びかけました。みなさんのご奮闘に心よりの敬意を表します。

残念ながら、神奈川選挙区では改憲勢力に3/4を占められましたが、全国的には野党共闘の前進、改憲勢力を2/3以下にすることができました。出口調査では、9条改憲と10月消費税増税反対がともに多数で、もっとも大きな要求は、年金など社会保障の充実を望む声でした。

浜矩子さん(同志社大学大学院教授)は、「21日の参院選は、光と闇が交錯するツートーンの結果に終わった。だが、均等割りのツートーンではない。光3対闇1の図柄だ。……光3要素は、①『改憲勢力3分の2』未達、②自民党議席の改選比9議席減、③『1人区』での野党共闘10議席確保。光側の3要素はなかなかの輝きを放っている。『3分の2』を取り損ねたことは、闇側の面々にとって明らかな痛手だ。「自民党の改選比9議席減も、実は結構なショックだろう。闇の部分がゼロになる時。その時を目指して、我々光チームはさらに歩みを進める。決して歩みを止めることはない」と述べています。

投票率48.8%・・・史上2番目の低さ

参院選の投票率(選挙区)は48.8%にとどまり、史上2番目の低い数字となりました。九州を直撃した大雨が影響したことはありますが、5割を切ったのは過去1995年の参院選(44.52%)だけです。毎日新聞は、「深刻なのは安倍首相が自民党総裁に返り咲いて以降、計6回の衆院選と参院選の投票率はいずれも60%に達せず、低投票率がもはや常態化している。「有権者の半数程度しか投票しない中で国民の代表が決まり、政治を動かしていく。議会制民主主義の土台が崩れ始めている」と言っている。「多くの有権者は『投票しても政治は変わらない』と最初からあきらめているのかもしれないし、選挙そのものに飽きているのかもしれない」と指摘しています。

4月の統一地方選に引き続いて、投票率が低下しています。国民の中に政治に対する無関心、無力感が覆っています。とくに私たちが意識しなければならないのは、社会保障制度が後退する中で、社会的弱者にあきらめ感、無力感が覆っていること、それをどう克服していくかということです。「れいわ新選組」が比例で2議席獲得し、重度障害者の方2名が当選したことは大きな光を指し示していると言えるのではないのでしょうか。個人の尊厳、すべての人の幸福追求権を保障する社会の実現に向けて、奮闘しあおうではありませんか。

私たちの要求である、改憲・消費税増税・社会保障改悪を許さない取り組みを引き続き前進させましょう。学習し、変えられるという希望をもって、行動していこうではありませんか。

参議院選挙の投票結果

政党	選挙区	比例区	今回当選	公示前	新勢力
自民	38	19	57	123	113
公明	7	7	14	25	28
無(与)	0	-	0	3	3
立憲	9	8	17	24	32
国民	3	3	6	23	21
共産	3	4	7	14	13
維新	5	5	10	13	16
社民	0	1	1	2	2
希望	-	-	-	1	0
れいわ	0	2	2	1	2
N国	0	1	1	0	1
無(野)	9	-	9	7	14
その他	0	0	0	2	0
計	74	50	124	238	245

氏名	当落	政党	得票数	得票率
島村 大	当選	自民	917,058	25.17%
牧山 弘憲	当選	立憲	742,658	20.38%
佐々木さやか	当選	公明	615,417	16.89%
松沢 成文	当選	維新	575,884	15.81%
浅賀 由香	次点	共産	422,603	11.60%
乃木 涼介		国民	126,672	3.48%

学習会

参院選挙後の情勢と 安倍改憲阻止の展望



中野晃一さん

上智大学 国際教養学部 国際教養学科 教授
安倍政権に対峙する「立憲デモクラシーの会」の呼びかけ人として、「安本法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の結成に関わる。立憲主義回復のための運動、野党共闘を進める運動の中心的存在として活躍中。

8月29日(木)

18:30~20:30

(18:00受付開始)

建設プラザかながわ 2階ホール 入場無料

参院選で安倍政権退陣めざすたたかいをすすめて、選挙後のたたかいの展望を学び、活動の交流や3000万署名をはじめ、運動の強化をはかることを目的に開催します。

主催：神奈川県大運動実行委員会 / 神奈川憲法共同センター
☎045(212)5855

緊急学習会

消費税増税は止められる!!

斉藤貴男さん講演

9月4日(水)18:30~

保険協会会議室